



## のあつく自然学校とは？

1994年に誕生し、大阪・京都・兵庫・岡山・名古屋の5つの拠点を中心に活動を行ってきました。現在は、関西中心に活動しております。

一過性のものではなく、その時期、その場所で感じられる自然の素材を使用して、子ども達が身体全体の五感で感じてもらう「ほんまもん体験」を提供している団体です。0歳からの野外教育を推進し、生涯学習としての教育的キャンプを展開しております。

### <のあつく自然学校の理念>

のあつく自然学校はキャンプ技術の経験はもちろん、スタッフの徹底した安全管理の下で、子どもたちの自由な発想をのばす「子どもが中心のキャンプ」を展開します。

また、4歳から中学生までを3つのクラスに分け、年齢に合わせたレベルでお友達と共に学び、「なぜ?」「なに?」を引き出しながらプログラムと一緒に取り組みます。

## のあつく自然学校3つの柱

### ●子どもたち中心のキャンプを展開します。

自然の中に子どもたちにとってわくわくするようなものがたくさんあります。(川・わき水・草や木・生き物・雨や雪など)

時には、準備しているプログラムよりも、子どもたちが違う内容に興味を持つことも・・・

そんな時は、子どもの安全第一に考えながらも、子ども達の声に耳を傾け話し合いながら、スケジュールやプログラム内容をどんどん変えていきます。

### ●「のあつく自然学校」だからこそできる企画を提供します。

学校や家庭でのキャンプでは味わえないオリジナル体験プログラムを用意しております。

普段なかなかできないことに挑戦する企画を季節に合わせて提案しています。

### ●友達の輪が広がります。

のあつく自然学校のキャンプは、日本各地、海外からのお友達が参加しております。

また、対象年齢も幅があるため、周り近所や同じ学校以外の新しい友達の輪が広がります。

## 安心・安全対策

### ●安全管理の取り組みについて

のあつく自然学校では、たくさんの自然体験の活動を行います。

日常とは違う環境・刻々と変化していく気象や自然の中で、お子さまの活動の安全管理の確保をできる限り危険を予測し、安全対策に丁寧に取り組みます。

団体として、事前から事後に至るまで、事故ゼロを目指す取り組みを徹底いたします。

#### 《保護者のみなさまへお願い》

のあつく自然学校のキャンプは五感で自然を感じてもらう体験プログラムです。

キャンプ中は天候により、暑かったり、寒かったり、雨や雪が降ることもあります。

スタッフを含め参加者みんなプログラムに適した天候を望みますが、思うようにならないのが自然です。

その時々環境に合わせ、大きな怪我や事故が起こらないようにリスクマネジメント(安全管理)に取り組んでいます。

しかしながら、“野外活動においてケガをしない”ということは絶対にありません。

洋服等の破れや汚れ、多少の擦り傷や打ち身などはお子様の頑張った勲章だと思ってください。



●プログラム実施前

→ 参加者の皆様に対して

<個人カードの入力> ※参加要項案内後、1週間以内にご入力ください。

お子様一人ひとりの様子を文章でご入力いただき、現地全スタッフで共有しています。

お薬、アレルギー、おねしょ、バス酔いなど 細かい情報を記載してください。

スタッフがその子にあった対応を心がけています。

<保護者用 説明資料のご案内>

団体の概要、安全管理体制、現地の様子やなどをキャンプガイドにてお伝えいたします。

キャンプ出発前には目を通すようにお願いします。

→ キャンプに同行するスタッフに対して

<安全研修と連携体制>

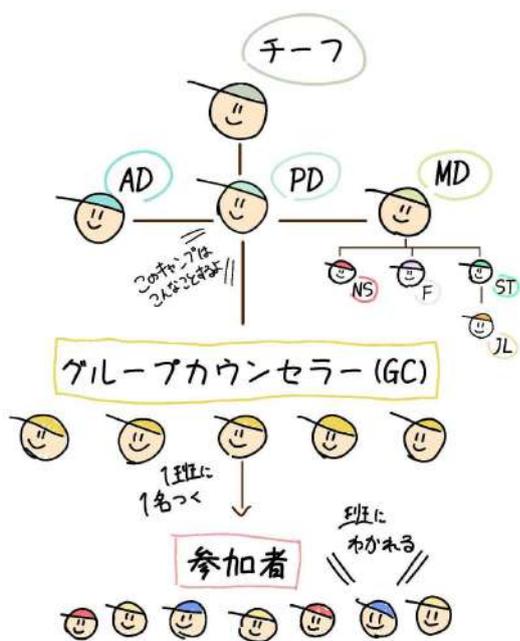
スタッフ、カウンセラー、ジュニアリーダーは定期研修を行い、CPRやAEDを利用した救急法、応急手当などを学んでいます。また、ホームシック対応の仕方など様々な研修を受講した後にキャンプに同行しております。

キャンプ中はスタッフが、お子さまの活動前や就寝後にミーティングを行い、

スケジュール確認やお子さまの様子、安全確認など、細かな情報を共有するよう努めています。

<組織について>

参加者の安全管理・プログラムの円滑化を行う上で組織運営を行っております。



名称	役割
チーフ	キャンパスchoolの総責任者。 直接運営には関わらないが、全体の指針、方向性を定める。
PD (プログラムディレクター)	プログラム運営の総指揮を行う。 各グループと連携を取り指示を出す。
AD (アドバイザー)	専門分野の指導、各プログラムでのアドバイスを出す。 写真・ビデオなどの管理をする。
MD (マネジメントディレクター)	プログラム運営に必要な備品や食事、生活面など、キャンプ スクールが円滑に運営できるようにスタッフに指示を出す。
ST (スタッフ)	MDからの指示のもと、参加者やGC、ULが円滑なプログラム 運営ができるようさまざまな作業を行う。
F (フード)	参加者の栄養管理、給食、食材調達を担当 参加者の衛生管理も兼務する。
GC (グループカウンセラー)	参加者と共に生活にプログラムを運営する、参加者の目的、 安全健康面に注意し、参加者のカウンセラーとして行動する。
NS (ナース)	参加者の健康管理、ケガの手当てを行う。 病院への引率、保護者への連絡・相談を行う。
JL (ジュニアリーダー)	STの補助を行い、プログラムの準備や片付けを行う。 一部のプログラムの指導補助を行う。

## ●プログラム実施中

### <帽子の着用>

参加者全員に必ず、帽子の着用をさせております。新規の会員には、キャンプ出発当日にスタッフより配布します。帽子の役割は、熱中症予防はもちろんですが、安全管理で使用します。バス移動中のサービスエリアでのトイレ休憩時やプログラム体験中に、遠くからでも参加者と判りやすい、人数点呼がしやすく、迷子になりにくいなどの安全対策に使用します。また、年齢による色分けによりそれぞれにあった対応が出来るようになっています。

(赤色:4歳~小2年生 黄色:小3~5年生 青色:小6年生以上)

### <スタッフのダブル監視体制>

キャンプ中のスタッフ配置について、全体を見渡すディレクター1名、さらに子ども8~10人(未就学児は5~7人)に対して1人のグループカウンセラーがつきます。24時間生活を共にし、スタッフ2人体制で事故防止・体調不良・トラブル等の早期発見に努めております。

### <現地の様子を公開>

キャンプ中の子ども達の様子を、毎日1回“活動ブログ”と“うちの子元気(写真10枚程度)”で現地より、ご報告します。  
(ブログ更新は、夜23時以降の予定です。ただし最終日はございません。)

### <いざという時は・・・>

のあつく自然学校では、できる限り子どもたちの自主性や挑戦する力を尊重します。基本的には、様子を見守る方針ですが、命や怪我の危険が伴う行動と判断した場合は、お子さま本人の希望にかかわらず、無理にでも止める場合があります。

